

83 カムリウミスズメ (チドリ目)

Synthliboramphus wumizusume

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

◎天然記念物

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

本州と九州では冬鳥。日本近海の離島で繁殖する。近畿地方では三重県耳穴島と京都府沓島で繁殖している。兵庫県では極めて稀な冬鳥とされているが、公の記録は1929年3月の1例だけである。島嶼の海岸や岩礁で繁殖する。海上に生息し、主に魚類を捕食する。

写真なし

国内分布

北海道、南千島、本州、七ツ島、耳穴島、沓島、見島、四国、幸島、九州、対馬、竹島、小屋島、筑前沖ノ島、鳥帽子島、男女群島、甌島諸島、枇榔島、伊豆諸島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認
(明石市)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

「今見られない」ランクから要調査に変更。
公にされている記録は1929年3月明石沖の1羽だけである。その後も記録は公表されておらず、その生息状況は不明である。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、藻場の再生を含め、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。